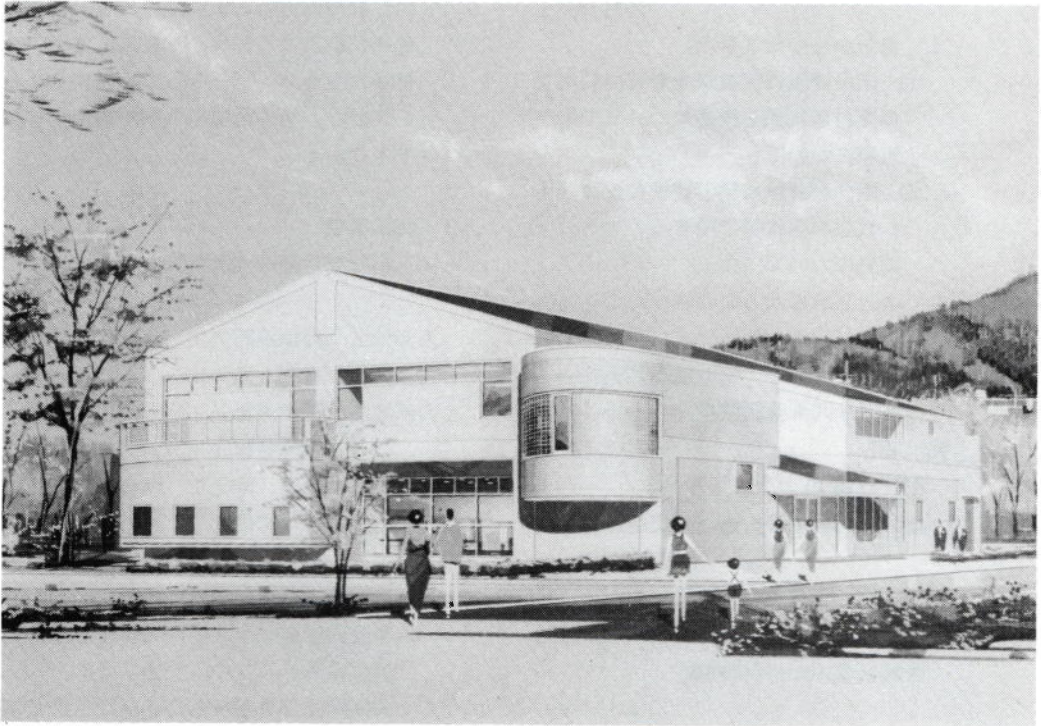


西多摩医師会報

第191号 昭和63年11月



五日市町 健康センター (64年竣工予定)

目 次

	頁		頁
1. 理事会報告 総務部	2	5. 市町村医師会紹介シリーズ	
2. 定款施行細則見直しメモ	4	五日市町医師会 木村 隆	10
3. 心臓ペースメーカーの話		6. ブロックだより	10
坂本保己	5	7. 哀悼 故井上富美先生 西村邦康	11
4. 文芸		8. お知らせ	11
老いては子に従い 丸茂三千穂	7	9. 入会金徴収について	12
武田信玄ブームによせて		10. 医師会日誌	12
米山秀雄	8	11. あとがき	13
大日岳溪谷登攀に観る 小泉新策	9		

理事会報告

9月定例理事会

昭和63年9月20日(火) P.M. 7:30

西多摩医師会館講堂

議事録署名人 { 唐橋理事
大嶽理事

1 報告事項

- (1) 都医地区医師会長協議会報告
西村会長
 1. 都医からの伝達事項
 - 1) 国民健康保険被保険者資格証明書の交付者に係る療養についての事務処理について
 - 2) 生涯教育体験学習提携状況及び生涯教育の現状等に関するアンケート調査について
 2. 地区医師会からの報告
インフルエンザ予防接種訴訟について (練馬区医師会)
- (2) 西多摩地区保健医療推進協議会「推進協」報告
西村会長
医師会報 10月号に掲載
- (3) 地区医師会生涯担当理事連絡会報告
宮川理事
- (4) 西多摩地区救急連絡協議会報告
宮川理事
医師会報 10月号に掲載

各部報告

- (1) 学校医部 湯川理事
 1. 学校医部委員として耳鼻科は山田登先生。眼科は真鍋勉先生に入っていた。
 2. 私立幼稚園嘱託医の報酬問題で9月16日、学校医部委員会開催。検討に先立ち実態調査を施行する。その内容は、園医名簿を作製し、園医にアンケート調査(園児数、年間報酬額、園医の活動状況等々)を行う。
 3. 11月11日公衆衛生部と共同で、東大平山先生を招いて講演会を開催する。
- (2) 産業医部 高木理事

9月14日労働衛生週間の運動の一環として衛生管理者を対称にした「職場における活力の保持」の題名で、講演会を行った。

- (4) 保険部 高木理事
特養施設の嘱託医の問題について
- (5) 公衆衛生部 林理事

9月13日公衆衛生部委員会を開催し、保健所保健・福祉サービス調整推進会議に、青梅保健所に大堀洋一先生、福生保健所に横田卓司先生、五日市保健所に木村隆先生をメンバーとして推薦することを決めた。学校医部と共同で講演会を開催する。

2 協議事項

- (1) 定款施行細則検討委員会委員選出について
東部地区 村山正昭先生、山田正哉先生、真鍋 勉先生
西部地区 江本虎雄先生、吉野住雄先生、唐橋善雄先生
南部地区 鈴木 修先生、米山秀雄先生、湯川文朗先生

— 承認 —

- (2) 自治体より支給される諸手当について
人事院勧告のベースアップ率+定期昇給分で、諸手当について交渉する。

公衆衛生部及学校医部に一任し交渉額を決定する。 — 承認 —

- (3) 保健所保健・福祉サービス調整推進会議及精神衛生連絡協議会の委員推薦猶予に関する件。

三慶病院の増床問題で都衛生局より、増床許可を出した旨の連絡があった。従来より増床問題については、開設者は地区医師会の承認を受け、それを文書によって都衛生局に提出する様に指導されている。当医師会では、今回の問題についても、地域医療委員会に諮問し、大変ご苦勞をいただき答申を受けた。その答申通りに反対を表明した。しかるにこれを無視して増床許可が出されたことは遺憾である。都衛生局に反省を求めめる意味で

上記保健所委員推薦を猶予したらどうか。

(松原副会長)

この問題については、都医師会、都衛生局に文書を送ることを含めて正副会長に一任する。

— 承認 —

- (4) 昭和59年4月18日臨時理事会全員了承の理事会申し合せ事項について

西多摩医師会各種委員会の位置づけについては、了承ずみの事であるが、

- (1) 医事紛争処理委員会。
- (2) 救急休日診療委員会。
- (3) 地域医療委員会。
- (4) 会報編集委員会については従来のとおり常設委員会とし諮問事項が生じたときは当該委員会を諮問委員会として運営する(従って答申をおねがいする)。

尚会報編集委員会については、昭和63年4月12日の理事会において、広報部の中に入れることで承認されている。

尚、各種委員会の位置づけについては、定款施行細則とのからみもあるので、その見直しの際に検討していただく。

— 了承 —

(総務部記)

10月定例理事会

昭和63年10月7日(金) P.M. 7:30

西多摩医師会館講堂

議事録署名人 { 井村理事
大堀理事

1 報告事項

- (1) 地区医師会公衆衛生担当理事連絡会報告 大堀理事
 1. インフルエンザ予防接種について。
 2. 難病訪問診療実施報告書の記載要領について。
 3. 新たに難病に指定されたミトニー症候群、広範脊柱管狭窄症の講演会が11月24日、2月16日に行なわれる。
- (2) 地域医療に係わる保健所との対応について 松原副会長

前回の理事会で承認された通り、都衛生局総務部長及都医師会長に対し、三慶病院の増床問題に対する医務課の対応は

遺憾であるので、諸般の事情により保健所保健・福祉サービス調整推進会議及び、今般新しく設置される五日市保健所地域精神衛生連絡協議会については、協力依頼に応じかねる旨、文書で通知した。

9月27日西多摩医師会長及び副会長と医務部医務課長が五日市保健所衛生課長の立合いで福生保健センターに於て会合をもった。その席上医務課長より、三慶病院に対する対応の仕方が衛生局としてもまづかったとの発言があった。話し合いの結果、五日市保健所地域精神衛生連絡協議会には出席することにした。尚、保健・福祉サービス調整推進会議については、非協力の状態を続ける。

(3) その他

1. 10月4日定款施行細則検討委員会開催

検討を行う理由を説明し、見直しメモを委員会に提出した。(メモは別掲)
西村会長

2. 学校医部報告

都立高校眼科医の加藤シゲ先生の後任は、各高校より推薦依頼が来ているので人選を真鍋勉先生にお願いしてある。
湯川理事

3. 保険部報告

- (1) 国保整備委員故小川隆先生より、山口太平先生に変更。
- (2) 自治体国保担当者との懇談会を11月24日医師会館で行う。
- (3) 西多摩地区病院連絡協議会が10月26日開催される。保険請求の問題で話し合いを行ってくる。高木理事

2 協議事項

- (1) 昭和64年度自治体より支給される諸手当について

学校医報酬、ヘルス事業の各診査料は人事医働告のベースアップ率+定期昇給のアップ率をかけて、諸手当の要望額とする。予防接種出務手当も同様とする。

又ヘルス事業の基本診査の算定基準を調べる。

— 承認 —

(2) その他

高沢病院、今井病院、大久野病院

1. 入退会会員 — 承認 — — 承認 —
 2. 入会金徴収について — 別掲 (入会金徴収についての確認メモ) (総務部記)

定款施行細則見直しメモ (定款施行細則検討委員会へ提出)

高齢化社会、疾病構造変化によって、医療経済的見地から国の医療行政は大きく変貌し、医師会の対社会的責務、役割は質的に変化してその対応は複雑になってきた、とくに昭和58年の老健法の設置、医療法の改正によって医師会の社会的役割は大きく変化してきた。即ち保険請求対策業務、予防注射業務は主な業務ではなくそれに引替え老健法がらみの自治体、保健所事業への協力、専門団体として地域住民のための地域医療の実践が業務の主体となってきた。そのため地域医療計画の中での西多摩医師会の役割、自治体主体及び保健所保健事業における西多摩医師会、自治体医師会の役割調整が課題になっている。

基本的には組織上西多摩医師会と自治体医師会との関係の明確化が求められるといえる。施行細則見直しの可否は、換言すれば全体(2次医療圏西多摩地区)と個(自治体)の係わり、そしてその調整と自主が求められている現況に現在の施行細則が適応しているかどうかという事と考える。

A 施行細則見直しの問題点

1. 組織
 1. 地区会の設置規定、各自治体医師会の西多摩医師会内の位置付け
勤務医部会の設置
 1. 会員
資格(老齢会員、B会員、会費免除会員)名簿作製時期
 1. 役員
理事定数、理事選出方法、病院理事、業務分担の現状対応
 1. 委員会
委員会の規定

1. 選挙

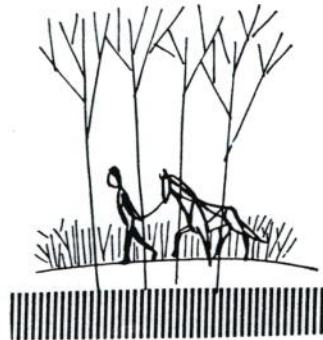
記号式投票の方法

B 従来からあつた協力事業

1. 市町村事業
予防注射、学校保健衛生(学校医)
1. 保健所事業
運営委員会。結核予防審査委員会。
大気汚染委員会。精神連絡協議会。
難病対策委員会。

C 老健法施行後の協力事業(ヘルス事業)

1. 市町村の実施するヘルス事業
一般健康審査、1年6ヶ月検診、子宮癌、乳癌、肺癌検診
1. 市町村から委託された保健所のヘルス事業
健康教育、相談、指導、3ヶ月、3歳児検診、胃集検事業
1. その他の事業協力
休日、準夜救急業務、在宅ケア事業
医療計画施行後医療福祉ネットワーク
づくり、病診連携、各自治体の独自医療行政
西村 邦康



心臓ペースメーカーの話

青梅市立総合病院

内科部長 坂本 保己

心臓ペースメーカー（以下ペースメーカーと略す）の発祥は1958年、スウェーデンにおいての臨床応用であったが、以来徐脈性不整脈患者の救命、治療に画期的役割を果たし、今日心臓疾患に欠かせない治療法となっている。熟達した循環器医であれば内科医が日常行なえる技術であるため、年々その植込み症例数は増加しており、救命のための一時的な使用（植込みしない体外式）なら施設のある病院でトレーニングを受けた一般医師が実施可能な技術であるため救急医療の一つとして普及している。

以下、実地医家の方々にペースメーカーの何であるかを理解頂くこと、また、それによってペースメーカーによる救命のチャンスを多くの人に与えることを目的として解説する。

1. ペースメーカーの働きと適応例

通常、心臓の心内膜面に一定の間隔で電気刺激を加えて人工的に心臓の収縮を起こさせる。従って、めまいや意識障害を来すような、あるいは心停止に到るような異常な徐脈はすべて対象となる。すなわち

高度の洞性徐脈

洞結節機能不全症候群（SSS）

房室ブロック（主に第Ⅱ度以上）

2. 体外式ペースメーカーと植込み式ペースメーカー。

心筋梗塞やジギタリス中毒などによる一時的な徐脈（原因がとれれば回復する）にはペースメーカーの植込みは要しない。

3. 植込みペースメーカーの構造

本体（Pulse generator）：リチウム電池（5V）を電源とし、小型マッチ箱大（おしなべて数十グラム）で心拍数はじめ種々の刺激モードが組めるIC回路が収まっている。

電極リード：電気刺激を心内膜に伝える径2ミリ以下のコード。（植込み法参照）

4. ペースメーカー植込みの実際。

1) 鼠径静脈からバックアップ用の電極カテーテルを心内膜に挿入し体外式ペースメーカーに接続。植込み中の心停止に備える。

2) 鎖骨下静脈（通常右）より植込み用電極リードを挿入。右房または右室心内膜に接地。最も低い電圧（1ボルト以下が望ましい）で刺激が有効な場所を選ぶ。有効な最低電圧を閾値と言う。

その他、感度（後述）のための心内R波の測定、横隔膜刺激の有無、固定の確認などを行なう。

3) 本体と電極リードの接続

4) 心拍数、刺激幅、感度、その他刺激モードの設定。

5) 鎖骨下数センチに皮下ポケットを作成、本体および電極リードの余剰部分をすべて埋没して閉じる。

以上の他、電気生理学的な検査を前もって行なう時間を含めても2時間以内に完了する。

5. ペースメーカーの感度について

感度とは、自己調律（心臓自体が発する生理的調律）の心電波形を心内膜面で感知する能力で、感度が良好であれば自己心拍のあったことを察知して本体は刺激を一時停止して自己調律に心収縮をまかせる仕組みになっている。これをデマンド型（待機型）と呼び、一方低感度では自己調律に干渉されることなく常に設定された心拍数どおり刺激をつづけ、セットレート型と呼び自発リズムの全くないケースに用いられる。

6. ペースメーカーの種類

1) 右心房でペースングするもの（AAI）
適応：徐脈でかつ房室伝導が完全な場合。

2) 右心室でペースングするもの（VVI）
適応：房室伝導の障害、あるいは将来そのおそれのある場合。

3) 右心房と右心室でペースングするもの

(DDD)。

適応：房室伝導障害のあるものすべて。
心房と心室が連動して収縮するので、血行動態はより生理的。

4) レート・レスポンス (RR)。

適応：仕事、スポーツなどを盛んに行なう人。身体活動によって起こる体動振動、体温、呼吸数あるいはQT時間などの変化を感知して心拍数(刺激頻度)を増加することが出来る。

7. 心電図波形の特徴

心房ペースング(AAI)ではP波の直前に刺激スパイクが見られる。

心室ペースング(VVI)ではQRS波の直前に刺激スパイクが見られ、かつQRS波は幅広く左脚ブロック型を呈する。

8. ペースメーカー植込みの状況

当院：S 58.1 ~ 63.10 平均 10 件/年
本邦：1985年 7,500 件/年
米国：1985年 140,000 件/年

9. 植込み後の問題。

寿命：8 ~ 10 年、本体のみ植え換え。
設定心拍数が減少してくる。

避けるべき電気器具な

：電気メス、短波治療器、低周波治療器、NMR、放射線治療、高電圧装置など。一般電気器具、交通機関、CTなどは問題ない。

死後のこと

：火葬の際、リチウムの気化膨脹によって爆発のおそれがあるので摘出するのが望ましい。

10. 異常作動の診断

a) 電池消耗：ペースメーカー心拍数が設定時より遅くなり(ペースメーカー手帳参照)かつ刺激スパイクがPまたはQRSを伴っている。

b) 閾値の上昇：電極の心内膜接地不良、心筋の変性など。
刺激スパイクにPあるいはQRS波が伴わない。
電極リードの断線などの

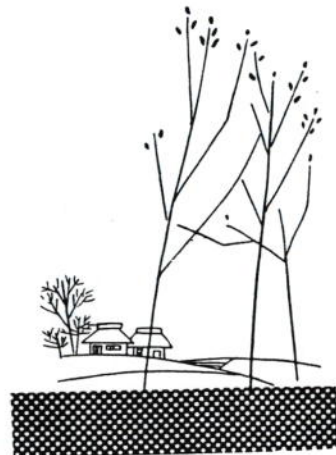
トラブルも考慮。

c) 筋電波の影響：電気の交流波なども同じことであるが、これを感じて(自己波形と誤認)ペースングが一時的に停止することがある。感度を下げて防ぐ。電極先端を陰極、本体を陽極とする単極リードで起きやすい。電極先端に陰極と陽極を付けたものを双極リードと言う。

d) 頻脈化：ペースメーカーの電気回路の異常で毎分250 ~ 300回の頻回刺激による危険な頻拍の起こることがある。

Pacemaker runaway と言われ緊急に電極リードを本体から離断ないし切断しなくてはならない。

以上、心臓ペースメーカーの臨床応用について概説したが、これに基づいて適応症例を鑑別し、紹介いただければ幸いです。特に植込み後のトラブルについてはほとんど問題になることはないことを付け加えておきます。



文芸

「老いては子に従い」

丸茂三千穂

「ねえーお母さん、お父さんが昼寝出来る所を階下につくろうよー、いくら二階え行って昼寝をするように云っても仲々行かないんだもの……」

と、孫を連れて遊びに来ていた娘が云っていた。わが家はこれはよい事だと思つて、即実行に移す事（特に女性達）が強く、早速にその昼寝をする場所をつくる書齋の片付けがはじまった。

いつの日か読むであろう……と思つて買ひ留めた小説本や、おあついで？万円もの医書も、日日進歩する医療革命に、何年も前の本は読む気にもなれず、少々老築化した我が家の床板をいためている程度である。又、この頃の土地の高騰で、山のような開いてももらえない本はもう居場所がなくなった感じである。「まったく、一生懸命買ひ留めた本もこうなるとダストボックス行きかあー、かわいそうだなあー、僕の好きなスリラー小説本もこんな小さな字ではメガネを掛けたって今じゃあ実に読みにくいもんなあー、若い時は年取ったらゆつたりと好きなこんな「スリラー本」でも読んで……」と思つて買ったのだが勿体ない事をしたなあー、考えが実に甘かったのだなあー」

「そうねえー、やはり私もこの年になってみてはじめていろいろな事がわかるんだものねえー」

と、女房も廃品回収と凶書館行きの本を區別けしている。

まる二日がかりで狭い書齋の本の整理を終え、何とかベッドが一台入る場所が出来て、気の早い女房がベッドの注文に出掛けた。翌日今まで散らかり放題の（プロパーからもらったクスの説明書など）山のような書棚もすっきりと片付き、ベッドが入ったら見違えるような部屋になった。

「ネえーお父さん、これからお昼休みはここで一時間位ゆつくりと寝るといいわよ、何た

って体が第一だからね。」

と、女房に云われ、さすがの頑固な私も、「ウーン、そうだね、そうするよー」と実におとなしく従った。自分ではすごく若いつもりでいるのだが、もうすぐ七十四才になる私の行動は、やはり年相応に家族には見えるらしい。ちょっと悲しい気もするが、こればかりは順番だから仕方がない……と最近は、「老いては子に従い」と云う言葉に素直に従うよう心掛けている。

それにしても育った時代のせいだと思うが、いったん得たものは捨てるのに実に勇気がいる。いつ使うかわからないような物のために広いと思つていた家の中も段々と狭くなって来る。その上、この土地の高騰の折、下手をすれば、一坪？百万円の上にせいぜい？千円の物が鎮座ましまし、その間を人間が太った体をくねくねと動きまわるのだから、やはりあの本は捨てられても仕方なかったのかも知れない。

見違えるような部屋になった書齋に出来た昼寝用のベッドに横になり、「ウーン、やはり老いては子に従いだなあー、何とも云えないいい気分だなあー」と思いながら、いつの間にか眠ってしまったらしい。

実は一生懸命この昼寝用ベッドを用意した裏話をひとつ、時々孫と来る娘がちょっと寝るのに使うのも一つの目的であるらしく、

「よかったわあー、あたしもこれから、そこで寝ようーと」

と、電話の向うで嬉しそうに云っていた。まあ、家内安全で行くことにしましょう。



武田信玄ブームによせて

米山 秀雄

桜田武さんと26年くらい前に、岡崎市の高級料亭で宴会に同席させていただいた事がある。宴半ばでトイレに立ったら、桜田さんがややおくれて来られた。トイレは満杯で、一人が桜田さんに気付いて、あわてて空けた、はずみで私が先に入ってしまった。偉い方だからと云って、十分放出しないわけにはいかない。と、後の方でピチャ、ピチャ、ピチャと水の落ちる音がした。何の事はない、中庭に向って放水中である。

余興の順番が回って来た。しかたなく、武田節をドナリ終った。と「アンコール」と云う声が掛った。音痴もいい処の私はびっくりした。声の主は桜田さんだった。

当時桜田さんは日清紡績の社長だった。彼は日清紡績の多角経営の基礎を作り、石油ショックにもびくともしない優秀会社を造り上げ、日経連会長として総評、同盟等と亘りあい後に池田、大平内閣の後楯ともなった方である。この方が武田信玄大好き人間であった。

摺鉢形の甲府盆地は急流が多く、雨水は一時に盆地に流れ込むため、風水害は絶えず貧困飢餓は慢性化し、沼と湿地帯と荒廃した田畑、それに父信虎によって制圧されたとはいえ、特に自立心の強い甲斐の郷族達は強力であって、しかも今川義元始め北條氏康、上杉謙信、織田信長等周囲の戦国武将のように、家伝来の家来もお城もない甲斐の国主となったのが21才であった。

以来研究された経営と戦略、法に対する冷徹さと、人に対する温情を便いわけ、あらゆる悪条件に打ち勝って、強力軍団を持つ大國に造り上げ、遂に近畿北陸中部にわたる大包囲網により、織田、徳川を危機に立たしめた過程は、会社の経営、貧乏国日本経営に通ずるものが多々あったものと思われる。

武田信玄は「人は石垣、人は城」と云う。(実際は信玄作ではないが彼の営みからはうなずける)

多くの「ドングリ」の中から、人を見ぬく

ことによって、勇将智将を育て、人間の総合力を大切にした。

天性か、それとも若い時の放蕩生活の中で養なわれたものか、兎に角人を見ぬく力を備えていた人物であったと思う。

彼には「人を見そこなう七ツの事」と云うのがある。

○油断のある人を落ち着いた人と見そこなう。

(情報不足の人)

○軽卒な人を、すばやい人と見そこなう。

(かるい人)

○そそっかしい、早合点する人を敏捷な人と見そこなう。

(直情行動の人)

○らちのあかない人は道理にくらいために、はっきりと、ものをいえない、それを慎重な人と見そこなう。

(愚鈍な人)

○何の思慮もなく、ものを云う人は「口たたき」といって、よくしゃべるが、こうした無思慮の口たたきを、よくさばけた人と見そこなう。

(誠実のないしゃべりや)

○信念のない人にかぎって、よく知りもせぬことに固執して、意外と剛情をはるものでこういう人を、りつばな武士で信念を持ち人に負けるのを嫌っている剛強武勇の人だと見そこなう。

(ただのつっぱりや)

似たような項目もあるが、深く考えると、自分の見そこないに気づき、自分が人を見る目のなさに反省させられる。と同時に現在は更に仮面をかぶった団体をも、見ぬかなければならない時代だと思う。

井上靖さん、新田次郎さん等有名作家の小説が出る前は、信玄に関する本を書いたり、特に研究している人は殆んど甲州人か、甲州ゆかりの人であるといわれていた。今日程、信玄の人間像が多くの人によって 解明された時代はないのではなからうか。

NHKのドラマの制作に対する、地元の人達の力の入れ方をみても、信玄に対する甲州の人達の愛情、信頼、感謝、誇りの強さを感じる。

昔から甲州の人達、特に私の知る多くの老人達は、信玄公と云わず、信玄さんと云って敬愛し、親しんでいた。

私も小学校の頃は、信虎や信玄の古戦場の

中に育ち、中学の頃には学校帰りに、甲府の本屋の高い本棚に箱入りの「甲陽軍鑑」や、大判の浮世絵風の「甲州軍団配陳凶」等を発見して、売れてしまうのを心配しながら、やっとあつめた小便いで一巻買ったが、あとが続かずくやしい思いをした。

今もその箱入り「甲陽軍鑑」の一巻をみるたびに甲斐の山脈と少年の日を思い出す。



大日岳溪谷登攀に観る 小泉新策

年ごとに 登山の流行 盛んなり
テレビに見るも ハラハラとして

奇巖攀ず 険阻を 犯し登山する
動作は 苦行の 連続と云はんか

その苦行 身命賭して 敢えて為す
苦行を 娯楽と 転化なしつつ

藪遭ぎも 何の苦行と 石徑を
ザイル一本に 命を託して

岩窟を 攀ち溪谷の 流れ泳ぎ渡る
行く手は 常に滝に はばまれつつ

神秘なる 溪谷に残る 雪溪も
踏めれば 永遠に 心の天国か

大日岳の溪谷 登攀は はらはらし
画像に見るも 身の毛よだてり

次々と 新しき試練を 描写して
興味そそるも 商業ベース 世相にて



市町村医師会紹介シリーズ

五日市町医師会 木村 隆

わが五日市町は西多摩郡住民には勿論知らぬものはないが同じ東京でも所謂都内の人々には結構知らない人は多い。東京湾に注ぐ多摩川は有名でもそれに合流する秋川の知名度は低いといえる。町を東西に貫通する五日市街道も杉並区で青梅街道に接続するというように直結していない。昔、物資の集散地として栄えた五日市町は五日市街道、清流秋川に沿って東西にやゝ細長く伸びた盆地状の土地でその奥の山地が檜原村である。元来農林業等を中心とした町であったが、町の活性化を目指し小峰地区工業団地の造成、秋川市に近い新市街地では商業地域化の整備が行われようとしており、武蔵増戸駅周辺にはスーパーマーケットが最近4軒も林立競争激化が予想される。町の人口は約2万人で横ばい傾向、むしろ山間部では過疎化の傾向すらある。しかし町は未だ農村的な偲かげを残しており、人情厚く自治組織の活動が盛んである。又保守的傾向と思われ勝ちだが、五日市憲法発祥の伝統に房わしい進歩的な気性もある。

さて、町内開業医師会員は10名で内科、外科、整形外科、耳鼻科、眼科、産婦人科等を標榜し町の医療需要をまかなっている。町民の先生方に対する信頼も厚く我々もそれに答えるべく日々研鑽すべきと考えている。五日市町医師会の構成メンバーは元西多摩医師会長で長老、人格者の小泉先生以下、杉本、桂木、黒田、鈴木、今川、栗原、西谷、明田川、各先生、小生木村と計10名である。更に五日市町、日の出町、檜原村合同による五日市医学会を結成しており毎月1回紀之国屋で懇親会をもち心を通じあっている。更に秋川医師会と南部医師会を構成し年1～2回会合している。町との連携事業に言及すると

- (1) 老健事業は町内医療機関委託方式(9月～11月15日迄)で基本健康診査と必要に応じて行われる精密診査があり、成人病検診は基本が集検、精検が個別診査となっている。
- (2) 予防注射、乳児検診等は町民会館の一室

で行われていたが、63年度に予算が計上され、来年3月に待望の保険センター(表紙写真)が完成することになっている。これを契機に町の衛生事業や保健所の予防事業と医療機関との競合等がないよう検討し斉合性をはかるべきである。

- (3) 五日市町が実施する休日診療事業は町から各医療機関への委託契約により取り行われている。観光シーズン中は観光客の山、川での外傷が多いが、月により来院数に波があるようだ。
- (4) 休日準夜診療も町との委託契約として行っており当町で一ヶ所確保している。
- (5) 乳児検診、予防注射事業は集団方式で行っている。インフルエンザ予防注射希望者は当町内小・中学校では55%前後という統計が出ている。

最後に各小自治体の殻に閉じこもることなく西多摩医師会相互の意志の疎通、地域住民の意見の扱ひ上げ、行政当局との接渉を密にし医師会の発展を望むべきだろう。

ブロックだより

第50回 一水会展に

稲垣先生(羽村)入選さる。

さる9月18日より10月3日の間 東京上野美術館で開かれた。一水会展において稲垣先生が入選された。

先生の入選はこれで3回目となる。



哀悼

故井上富美先生

西村 邦康

先生にはご壮健で日夜診療に精励されご活躍されておりましたところ突然の悲報に接し晴天霹靂の思いでございました。

人の世の常とは申せ寂寥哀愁の感深く誠に痛惜の念に堪えません。

ご主人様、ご令息の勇之先生を始め皆様のご心傷如何ばかりかと心からお悔やみ申し上げます。

顧りみるに先生は明治45年5月29日に生を享けられ、昭和11年3月現在の東京女子医科大学をご卒業になり、同年4月より、東京帝国大学付属病院小児科に入局され、その後昭和17年10月より東京杉並区にて開業、昭和20年4月より現在地に移転開業されました。

戦前戦後を通じ今日まで地域医療に、保健事業に貢献して来られ地域の方々から深い信頼と尊敬を集めてこられました。また学校医として長年に亘り学校保健衛生の面でも大変

活躍され、昭和52年11月都教育委員長より昭和60年10月には東京都知事より表彰を受けられております。

また医師会関係におかれても、常にその運営に関心をもたれ、昭和41年4月より同59年3月までの18年の長い間、本会医道審議会委員として又、委員長として会の発展に寄与されました。

温厚、几帳面なご性格と親切なお人柄は我々会員の信頼も厚く生前のお人柄を知る多くの会員にとって、忘れることのできない思い出も数々あると思います。

返す返すも残念であり哀惜の情切々として禁じ得ないものがあります。

茲に先生が本会に尽くされたご功績を偲ぶとともに先生の亡きあとの医業はご令息の勇之先生が継承発展されるものと確く信じております。

どうぞ安らかにお眠り下さいませようお祈り申し上げます。

訃報

青梅市長 7-378

井上 医院

井上富美先生



明治45年5月29日生 享年76才

昭和63年10月8日 午後7時15分
急性心不全のため逝去されました。
告別式は10月14日午後1時より 青梅市
上長瀬福祉会館に於て執り行なわれました。
謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

12月.1月

の保険請求書類提出について

年末年始の保険請求書類の提出日は下記の通りとなりますのでお間違いないようご留意願います。

12月(11月診療分)

12月 7日(水)

1月(12月診療分)

1月 9日(月)

— 正午迄です —

- 10月14日 学術勉強会
28日 学術講演会

役員出張

- 10月1日 医師国保30周年記念式典
4日 都医公衆衛生担当理事連絡会
12日 多摩医学会役員会
14日 都医会長会
" 三多摩会長会
17日 都医救急夜間診療実施対策協議会
18日 福生准看学院戴帽式
21日 三多摩庶務担当連絡会

会員通知

- 10月の保険請求書提出について
- 昭和63年度メンタルスクエア研修の実施並びに受講者の募集方依頼について
- 国民健康保険被保険者資格証明書の交付者に係る療養についての事務処理について
- 「未熟児医療の近代史」講演会の開催について
- 学校保健法施行規則の一部改正等について

- 昭和63年度東京都リハビリテーション医師研修会(第1回)の実施について(依頼)
- 昭和63年度成人病検診従事者指導講習会のお知らせ(基本健康診査従事者指導講習)
- 昭和63年第2回准看護婦卒後教育講習会の開催について
- 昭和63年度腎臓及び角膜移植推進キャンペーンの実施について
- 「1989年版医師日記」の斡旋について
- 学術講演会開催案内
- 運転者講習会開算案内
- 東京都市町村職員共済組合の組合員証等の検認にかかる検認印押印箇所の変更等について
- 昭和63年度第2回医療法人設立認可説明会の開催について
- 青梅市立総合病院10月分宿日直表
- 東京都特殊疾病患者診断手引
- 特殊疾病(難病)患者の治療及び生活指導の手引
- 指名手配被疑者の発見通報方依頼について
- 社会福祉・医療事業団が開催する老人保健施設にかかる講演と融資説明会について

あ と が き

少し遅めの夏休みをとって、9月末家族と沖縄の宮古島に行った。レンタカーで島をドライブしてみた。エメラルドグリーン^{アガソヘンナ}の海はすばらしく、砂糖きび畑をぬけ東平安岬の青くすき透る海に出ると、ここは砕ける波自体が青く、青インクを流しているようであった。現地の人に勧められ新城^{アラグメク}へ行き泳いだ。サンゴ礁に囲まれ、波も静かで、砂は白く子供を遊ばせるには打って付けであった。水中メガネをかけ、ちょっともぐってみると色とりどりの熱帯魚が色とりどりのサンゴに群って竜宮へ行った様であり、時の過つのも忘れる程であった。いや忘れてしまったのである。9月も末だし太陽もそう強くはなからうと油断してしまったのである。家人は大丈夫だったが、日中蛍光灯の下にはかりいる私は、翌日はヒリヒリ、翌々日は妻にひっぱられ現地の皮膚科の先生のお世話になる仕末となった。

夏には夜、救急車で運ばれるギャルも多いとの事であった。何とも恥ずかしかったが、やはり具合の悪い時は医者にかかった方は良い。海洋開発が進まないうちに是非一度行かれる事をお勧めします。且し日焼けに御注意。

百瀬眞一郎

昭和63年11月1日発行

発行所 (社)西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103
TEL (0428)23-2171(代)

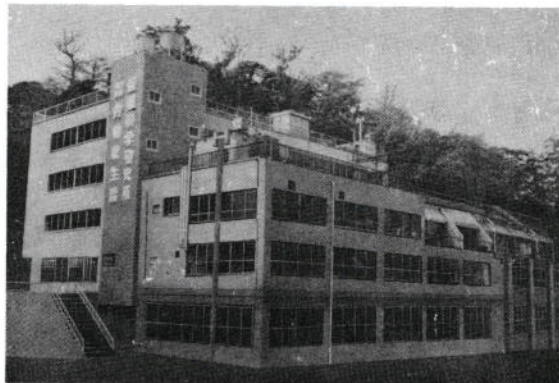
会報編集委員 大嶽栄二

石井好明 栗原琢磨 小林杏一
真鍋勉 道又正達 百瀬眞一郎
横田博 渡辺良友

印刷所 マスダ印刷 TEL (0428)22-3047

臨床検査センターの雄 保健科学研究所

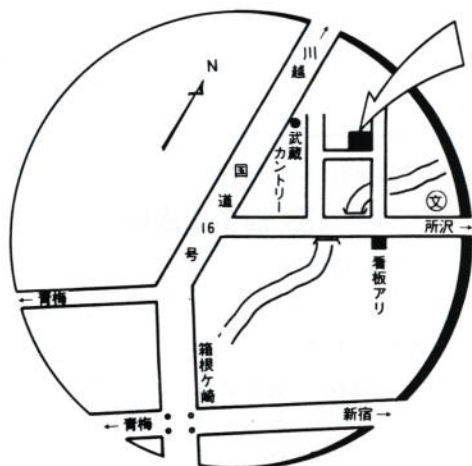
横浜市保土ヶ谷区神戸町106
電話 045 (333) 1661 (大代表)
八王子市子安町3-17
電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
 - 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)
 - 関係医療機関 約 3,500ヶ所
 - 広範囲な検査内容
 - 内分秘学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査
- ！都11県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。

期待と信頼にこたえて15年!!

検査のことなら武蔵臨床へ 電話一本緊急検査に応じます
学校、会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢339-1

TEL 0429 (64) 2621(代)